

2 船員職業安定業務の現況

(1) 船員の雇用情勢

平成26年の船員職業紹介実績は第1表、船員労働需給の状況は第2図のとおりである。

新規求人者数は、25年の246人から104人増加して350人となり、新規求職者数は25年の249人から46人減少して203人となった。

また、有効求人倍率は高止まりの傾向にあり、船員不足を反映し1年を通じておおむね1.0倍を超えている。本年の月間平均倍率は1.43倍と前年の0.86倍を0.57ポイント上回っている。

なお、新規求職者数の年齢構成は第3図のとおりであり、50歳代以上の中高年齢層が約39.4%を占める一方で、30歳代までの若年層は37.4%となっており、前年に比して若年船員の占める比率が若干上がっている。

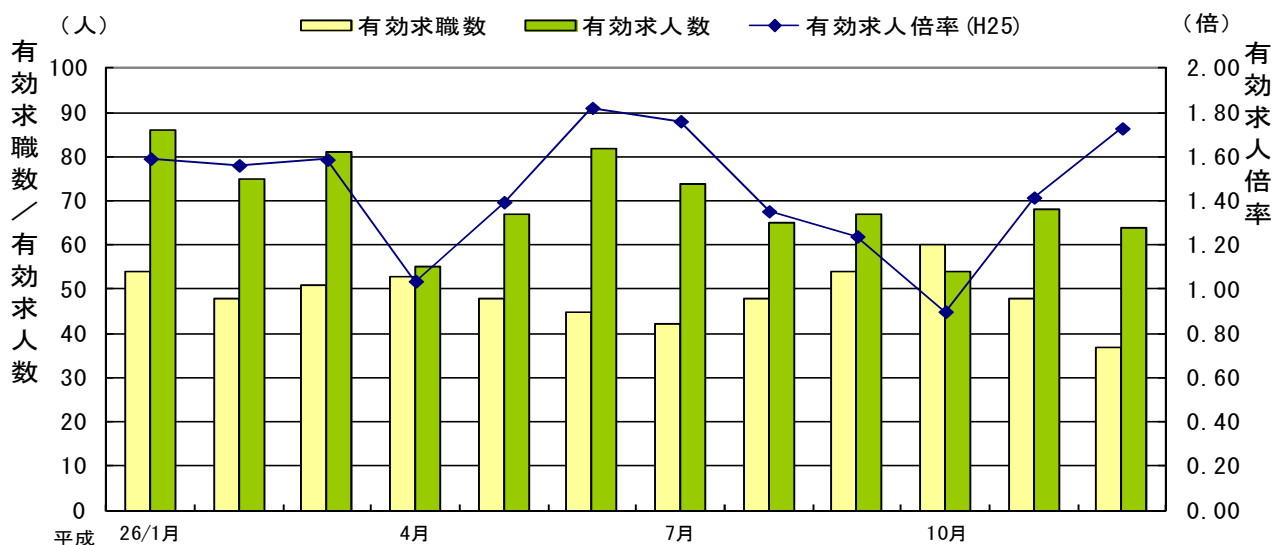
第1表 船員職業紹介実績

(平成26年1月～12月)

	新規求人者数	新規求職者数	成立数	新規求人倍率	1.72倍
外航	19人	8人	0人	月間有効求人数(平均)	70人
内航	258人	148人	52人	月間有効求職数(平均)	49人
漁船	13人	8人	0人	月間有効求人倍率(平均)	1.43倍
その他	60人	39人	3人	充足率	5.0%
計	350人	203人	55人	就職率	9.8%

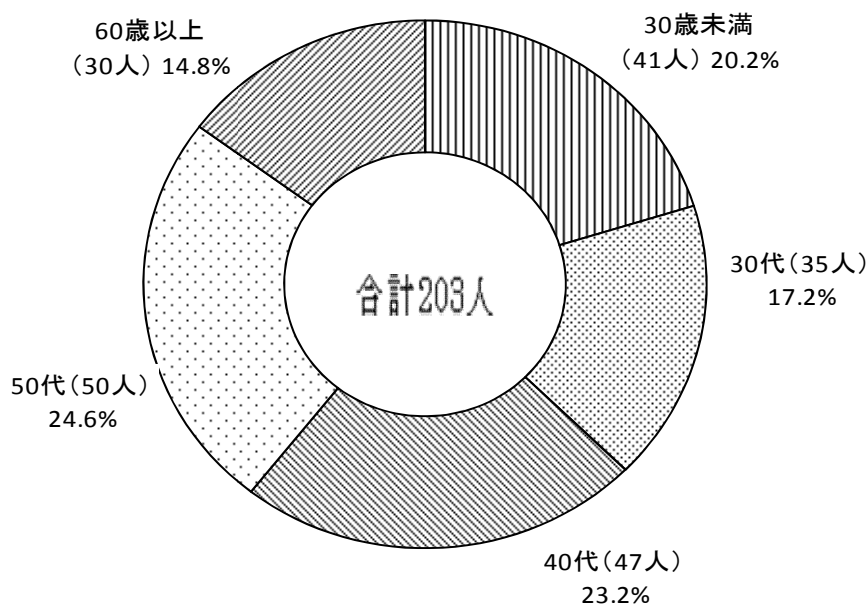
第2図 船員労働需給の状況

(平成26年1月～12月)



第3図 新規求職者数の年齢構成

(平成26年1月～12月)



(2) 雇用促進等対策

(ア) 求人開拓

離職船員の雇用機会の拡大を図るとともに船員需給状況を把握するために、平成26年度は、次のとおり求人開拓を実施した。

訪問事業者数	求人票提出数	就職成立数
13社	1社	0人

(イ) 就職促進対策

平成26年度の雇用保険受給資格者への再就職の促進に必要な公共職業訓練受講指示は、次のとおり実施した。

独立行政法人海技教育機構海技大学校	4級海技士(機関)	1人
一般財団法人尾道海技学院専修学校日本海洋技術専門学校	6級海技士(航海)	1人

(3) 雇用保険に係る失業等給付

平成26年度の雇用保険に係る失業等給付は、次のとおり実施した。

受給者数	107名
支給件数	179件
支給額	25,376,251円

(4) 船員派遣事業

船員派遣事業の許可事業者数は、平成27年1月に新たに1社が事業許可を受けたことから、平成27年3月末日現在7社となっている。

(5) 学校等が行う無料の船員職業紹介事業について

(ア) 学校が行う船員職業紹介事業

学校が行う無料の船員職業紹介事業の届出事業者は、平成27年3月末日現在3校（独立行政法人海技教育機構海技大学校、国立大学法人神戸大学、兵庫県立香住高等学校）となっている。

(イ) 団体が行う船員職業紹介事業

無料の船員職業紹介事業の許可は、平成27年3月末日現在、2団体（浜坂漁業協同組合、但馬漁業協同組合）が許可を受けている。